

お洒落 サプリメント

⑧

古くて新しい シモキタファッション 探訪記

何もかもが使い捨ての時代、おしゃれも例外ではありません。低価格とデザインがポイントの現代ファッションに比べ、我々の若い頃、おしゃれといえば背広をあつらえることくらいで、カジュアルなおしゃれは二の次、三の次。一種の憧れでもありました。

最近、巷で当時憧れたカジュアルファッションに出会える街があると聞き、興味津々で出かけてみました。シモキタ商店街（東京・下北沢）は、駅からすぐのところであり、早速気になる店を覗くと、懐かしいチェックのシャツやフェルトジャケットが型崩れすることなく、無造作にハンガーに吊るされています。どれも「古着」なのに、いきいきと見えるのはなぜでしょう。

カラーやサイズが不揃いなところも妙におしゃれに感じられ、うれしくなります。スタイルや柄は同じでも、ジャストフィットがかっこいいとされる今の商品に比べると、いずれもゆったりとしたつくりで、素材もよく、着やすさでは引けをとりません。帽子やスカーフ、ベルトなどの小物類も種類が豊富。見ているだけで楽しくなります。もちろん、古着なので値段を気にする必要もありません。

レトロファッションを扱う店が軒を並べる下北沢は、学生が多い街。劇場やスタジオ、ライブハウスが多い街としても有名です。

ショッピングのコツは、若者に負けじと、とにかく積極的に、気になるものは片っぱしから試着してみること。流行は繰り返すといわれますが、ここへ来ると、40年前のファッションが今のトレンドだということがよくわかります。まさに「古きをたずねて新しきを知る」にふさわしい街。クラシック、レトロ、ビンテージ、どれも一世を風靡したものだけに与えられる称号のようなものですが、我々の時代のファッションは、今もシモキタで、立派に生きています。

皆さん、お気に入りの服装で出かけたとき、同じ格好の人に出会って気まずい思いをした経験、ありませんか？ レトロファッション・シモキタではその心配は不要です。間違いなく、オンリーワンのファッションで自分の個性を演出できるのです。

日頃、洋服をデパートや専門店、スーパーの衣料品売り場で選んでいる皆さん、ぜひ一度、本多劇場で観劇がてら、我々の年代にどこか懐かしさを感じさせる「シモキタ商店街」を散策してみたいかがでしょう。

